

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 16 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26284036

研究課題名(和文)1940年代における上海租界劇場芸術の連続性と他地域への展開の諸相をめぐる研究

研究課題名(英文)A Study on the Continuity of the Theatre Arts of Shanghai Settlements in the 1940s and the Aspects of Spread of the Arts into Other Regions

研究代表者

大橋 毅彦(OHASHI, Takehiko)

関西学院大学・文学部・教授

研究者番号：60223921

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,100,000円

研究成果の概要(和文)：租界都市上海の劇場文化を代表する場としての蘭心大戲院(ライシャム・シアター)の1930年代から40年代にかけての実像を、多言語資料に拠る実証的な調査研究を通して明らかにし、その成果を中国ならびに日本で2冊の共同研究書と雑誌特集号として刊行した。また、これらの作業を通して見えてきた同時代の上海租界文化の複層性や、後の時代にもつながっていく他の地域との様々な文化的交流に関する研究にも積極的に取り組み、そこで得た研究成果を上海社会科学院と共催のかたちで行った国際シンポジウムで、国内外に向けて広く発信した。

研究成果の概要(英文)：We demonstrated the actual management of Lyceum Theatre as a place representative of theatre culture of the Shanghai Settlements from the 1930's to the 1940's through empirical researches based on multilingual materials, and published two collections of papers and a special issue of a journal. We also actively worked on researches on the multilayered nature of contemporary culture of Shanghai Settlement and various cultural exchanges with other areas that would be connected to the later period, and delivered the result of researches widely to domestic and overseas at the international symposium organized jointly with the Shanghai Academy of Social Science.

研究分野：人文学

キーワード：上海租界文化 蘭心大戲院 ライシャム・シアター 劇場芸術 1930年代 1940年代 多言語資料

1. 研究開始当初の背景

本研究は、それに先立つ平成23～25年度の科研・基盤研究(B)(研究課題:「上海租界劇場文化の歴史と表象 ライシャム・シアターをめぐる多言語横断的研究」)に携わったメンバーが、そこで得た研究成果をさらに発展させることを目的として開始したものである。すなわち、先の共同研究期間においてはまだ不十分であった中・日・英・仏・露の各国語資料の収集と分析の徹底化を図りながら、ライシャム・シアター(蘭心大戲院)を一つの窓として見えてくる1930年代から40年代にかけての上海租界劇場文化の多様性を明らかにする必要がある。さらにその調査の過程で、上海租界劇場文化に関わった芸術家や文化人が、その活動の場を上海(中国)以外の国や地域に置いているケースに出会うことが十分に予想される。そうした個々の人々の航跡が描き出す文化的ネットワークを取り上げることによって、上海都市文化の生成と発展との捉え方に新たな照明があたることも期待される。

2. 研究の目的

(1) 蘭心大戲院で繰り広げられる演目の中には、劇場芸術の領域的あるいは民族的混淆といった、租界文化の縮図的な相貌が現れていることを明らかにしていく。

(2) 1940年代の蘭心大戲院における興行の実態を正確に把持することによって、この時期を上海租界にとっての文化的空白期だと見なしてきた従来の歴史解釈に対しての再考を迫る。

(3) 上海租界の劇場芸術に関わった人たちが、自分たちの活動を上海以外のどういった場所に結びつけて展開していったかについての事例研究を通して、上海租界文化の地理的ネットワークの広がりという問題系を立ち上げる。

(4) 現在の上海で、政治・経済・法律・教育などの切り口から進められており、一定の成果が挙げられている「上海学」の中で、劇場芸術といった人の心や感性に働きかけるものを対象とする研究が持つ意義を問うていく。

3. 研究の方法

(1) 多言語横断的な方法を前面に打ち出す。具体的には、中国語新聞「申報」「大陸報」「新聞報」、英字新聞「ノース・チャイナ・デイリー・ニュース」、仏語新聞「ル・ジュルナル・ド・シャンハイ」を中心に据え、さらには日本語新聞「大陸新報」、ロシア語新聞「ザリア」「スロヴォ」を補助資料として活用しながら、蘭心大戲院ならびにその周辺にあった劇場関連記事の収集とデータ化を進める。

(2) 蘭心大戲院に関与した人々の動向について、時間的(たとえば1949年の新中国誕生以後)ならびに空間的(たとえば日本・大阪)にも広い射程をとり、彼らの活動を上

海租界劇場芸術の移動といった観点から考察し、その文化史的意義を明らかにする。

(3) 本共同研究メンバーの専門領域は文学系、芸術系、歴史系と多岐にわたる、いわば領域横断的な性格を持つものだが、そうしたチーム構成で進めていく研究の到達点を確認、さらなる課題を見出すために、「上海学」をリードしてきた上海社会科学院や日本上海史研究会との学术交流を活発に展開する。

4. 研究成果

(1) 1930年代からアジア・太平洋戦争の勃発によって刊行停止となるまでの期間の「ノース・チャイナ・デイリー・ニュース」ならびに開戦後も継続して発行された「ル・ジュルナル・ド・シャンハイ」に掲載された蘭心大戲院(ライシャム・シアター)関連記事を網羅的に調査し、それに基づく詳細な同劇場公演演目一覧表を作成、メンバー全員で共有するに至った。

(2) 本共同研究チーム中4名の共編で『上海租界与蘭心大戲院』を刊行した。上海人民出版社から刊行された中国語による論文集だが、巻末には(1)で記した成果の一部も反映させている。このように一つの劇場に注目してそこから上海租界文化の持つ様々な問題系にアプローチしていく手法と、それを実践していく研究者の専門領域が多岐にわたっている(=学際性を有している)点とは、中国(上海)の学界で注目されることとなり、同書に掲載された研究チームメンバー中2編の論文は、『上海学』第二輯にもその内容に一部手を加えて再掲された。

(3) 一方日本国内においても、本共同研究チーム中3名の共編で「アジア遊学」(勉誠出版)の特集号として『上海租界の劇場文化』を刊行した。「多国籍都市の中のライシャム」「中国人にとっての蘭心」「乱反射する上海租界劇場芸術」という構成のもとに編んだ同書は、「混淆・雑居する多言語空間」という副題が端的に示すように、本共同研究の目的と手法とを一般読者に向けて具体的に発信したものである。

(4) 上海音楽学院との学术交流は本共同研究開始以前から始めていたが、こうした動きをさらに進めて上海社会科学院との提携による国際シンポジウムを現地上海で実現させた。日本・中国・アメリカ・オーストラリアなどから約50名の上海都市文化の研究に着手している研究者が参加したが、そこにおいて本共同研究チームのメンバーは全員が(2)・(3)の成果とその後の調査研究によって得た知見も加味した報告を行い、注目された。その内容は、上海社会科学院世界中国学研究所副所長周武ならびに本共同研究代表大橋毅彦との共同編集のかたちをとって、平成29年度中に『上海学』第6輯で紹介する予定である。また、日本国内においても、戦時上海が抱えた諸問題を「グレーゾーン」という視角から考察している日本上海史

研究会と学术交流を展開、そこでの成果も大橋が共編者の一人として名を連ねた『戦時上海のメディア』（研文出版）に反映させることができた。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計12件)

1. 榎本泰子 多国籍都市上海の歴史と文化劇場から見る東西の交流 AJジャーナル、査読無し、12号、2017、pp111-116
2. 井口淳子 A.ストロークのアジアツアー 上海租界で発行された英字新聞にもとづいて 音楽学、査読有、第62巻、2017、pp73-85
3. 藤田拓之 上海の外国人社会とライシャム劇場 アジア遊学、査読無し、第183号、2015、pp7-23
4. 大橋毅彦 沸きたつライシャム 多言語メディア空間の中で アジア遊学、査読無し、第183号、2015、pp24-35
5. 井口淳子 ライシャム劇場、一九四〇年代の先進性 亡命者が創出した楽壇とバレエ アジア遊学、査読無し、第183号、2015、pp36-50
6. 榎本泰子 上海の劇場で日本人が見た夢 アジア遊学、査読無し、第183号、2015、pp51-62
7. 趙怡 ライシャム劇場における中国芸術音楽 各国語の新聞を通して見る アジア遊学、査読無し、第183号、2015、pp73-86
8. 関根真保 楊樹浦における上海ユダヤ避難民の芸術文化 ライシャムなど租界中心部との関連性 アジア遊学、査読無し、第183号、2015、pp168-181
9. 大橋毅彦 蘭心大戲院研究的可行性 上海学、査読有、第2輯、2015、pp93-102
10. 趙怡 蘭心大戲院与中国音楽 上海学、査読有、第2輯、2015、pp103-124

〔学会発表〕(計14件)(うち1と8は招待講演)

1. 大橋毅彦 蘭心大戲院を貫く無数の力線とその行方 上海社会科学院近代上海史創新型学科団体・日本蘭心大戲院研究会・上海社会科学院歴史研究所主催 国際シンポジウム「文化空間与文化融匯」2016年8月26日、上海社会科学院、上海（中国）
2. 井口淳子 外国語新聞による上海バレエ・リュスの再検討 国際シンポジウム「文化空間与文化融匯」2016年8月26日、上海社会科学院、上海（中国）
3. 榎本泰子 劇場の変遷から見る日中両国の近代化 国際シンポジウム「文化空間与文化融匯」2016年8月26日、上海社会科学院、上海（中国）
4. 関根真保 難民受入れ都市文化と上海 日本軍が「上海ユダヤ人ゲットー」を設置し

た理由 国際シンポジウム「文化空間与文化融匯」2016年8月27日、上海社会科学院、上海（中国）

5. 趙怡 アジア文化の伝播に努めたフランス語新聞 Le Journal de Shanghai (法文上海日報) 国際シンポジウム「文化空間与文化融匯」2016年8月27日、上海社会科学院、上海（中国）
6. 藤田拓之 上海共同租界行政と日英居留民 国際シンポジウム「文化空間与文化融匯」2016年8月27日、上海社会科学院、上海（中国）
7. 榎本泰子 民国期の音楽の多様性と可能性 東方学会平成27年度秋季学術大会 シンポジウム「中国の音楽文化」2015年11月6日 日本教育会館（東京）
8. 大橋毅彦 魔都/摩都 上海の次に 在る/来る もの 「中日文学関係：以上海为中心」双边研討会 2014年12月6日 上海外国語大学文学研究院 上海（中国）
9. IGUCHI Junko Music and Modernity in EastAsia:CreatingResearchDatabases,Archives of Western Music in Kansai held in Osaka College of Music in Symposium,2014年11月21日、Research Center for Japanese Traditional Music,Kyoto City University of Arts,Kyoto

〔図書〕(計15件)

1. 大橋毅彦 『昭和文学の上海体験』 勉誠出版、2017年、本文594頁・索引34頁
2. 藤田拓之 『戦時上海のメディア 文化的ポリテクスの視座から』所収「ノース・チャイナ・ヘラルド」にみる日本人の表象」研文出版、2016年、263~284頁
3. 関根真保 『戦時上海のメディア 文化的ポリテクスの視座から』所収「ノース・チャイナ・ヘラルド」・「ノース・チャイナ・デイリー・ニュース」が報じた上海の民族問題」研文出版、2016年、285~305頁
4. 榎本泰子 『中国の音楽文化 三千年の歴史と理論』所収「建国後の中国における西洋音楽の運命」 勉誠出版、2016年、145~164頁
5. 井口淳子 『中国の音楽文化 三千年の歴史と理論』所収「近代からコンテンポラリー（現代）へ 音楽評論が伝える1930年代の上海楽壇とバレエ・リュス」勉誠出版、2016年、165~186頁
6. 大橋毅彦 『上海租界与蘭心大戲院 東西芸術融合交匯の劇場空間』所収「前言」・「蘭心大戲院研究的可行性」 上海人民出版社、2015年、前言1~4頁・本文3~31頁
7. 井口淳子 『上海租界与蘭心大戲院 東西芸術融合交匯の劇場空間』所収「20世紀40年代蘭心大戲院的前衛性」 上海人民出版社、2015年、32~54頁
8. 藤田拓之 『上海租界与蘭心大戲院 東西芸術融合交匯の劇場空間』所収「上海外国

人社会与蘭心大戲院」、「蘭心大戲院大事記」上海人民出版社、2015年、79~102頁、318~325頁

9. 榎本泰子 『上海租界与蘭心大戲院 東西芸術融合交匯の劇場空間』所収「太平洋戦争時代の日本人与蘭心大戲院」上海人民出版社、2015年、103~118頁

10. 関根真保 『上海租界与蘭心大戲院 東西芸術融合交匯の劇場空間』所収「上海猶太難民的文化活動与蘭心大戲院」上海人民出版社、2015年、119~133頁

11. 趙怡 『上海租界与蘭心大戲院 東西芸術融合交匯の劇場空間』所収「蘭心大戲院与中国音楽」、「蘭心大戲院上演劇目一覧表」、「東西芸術融合交匯的文化大舞台」、「蘭心大戲院大事記」上海人民出版社、2015年、132~172頁、243~325頁

12. 藤田拓之 『居留民の上海』日本経済評論社、2015年、300頁

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

大橋 毅彦 (OHASHI, Takehiko)
関西学院大学・文学部・教授
研究者番号：60223921

(2) 研究分担者

榎本 泰子 (ENOMOTO, Yasuko)
中央大学・文学部・教授
研究者番号：00282509

井口 淳子 (IGUCHI, Junko)

大阪音楽大学・音楽学部・教授
研究者番号：50298783

藤田 拓之 (FUJITA, Hiroyuki)
大阪産業大学・人間環境学部・准教授
研究者番号：80572297

関根 真保 (SEKINE, Maho)
立命館大学・言語教育センター・外国語嘱託講師
研究者番号：20708698

趙 怡 (CHO, I)
東京工業大学・リベラルアーツ研究教育院・東工大特別研究員
研究者番号：10746481

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()